

特別展

鍋島侯爵家

と

松濤



鍋島直大



鍋島直映

令和7年
(2025)

1月21日(火)~

3月23日(日)

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(2月24日は開館)・2月25日(火)

一般:100円(80円)/小中学生:50円(40円)

※()内は10名以上の団体料金

※60歳以上の人、障がいのある人と付き添いの人は無料



<https://shibuya-muse.jp/>



住所 〒150-0011 渋谷区東4-9-1

電話 03-3486-2791

交通機関 渋谷駅から都バス「日赤医療センター行き(学03)」(東口54番) 国学院大学前下車2分

ハチ公バス「恵比寿・代官山循環」郷土博物館・文学館下車すぐ



白根記念
渋谷区郷土博物館・文学館
SHIBUYA FOLK AND LITERARY SHIRANE MEMORIAL MUSEUM

特別展

鍋島侯爵家と松濤

都内でも有数の住宅街として知られている渋谷の松濤地域は、旧佐賀藩主の鍋島侯爵家がそこで茶園「松濤園」を開き、その後、同家による宅地造成が行われた場所といわれています。鍋島家と松濤との関わりは、現在でも「渋谷区立鍋島松濤公園」の名前などにうかがうことができますが、鍋島家が松濤で行ってきた開発・経営の実態や、鍋島家自身のことには意外に知られていません。

本展では、鍋島家による渋谷での開発・経営の過程を、関係資料によって明らかにします。そして鍋島直大（なおひろ）・直映（なおみつ）侯爵を始めとする鍋島家ゆかりの人たちや、鍋島家と渋谷との関わりについても紹介します。

展示構成

1 鍋島侯爵とゆかりの人々

渋谷での開発に関わった鍋島直大・直映侯爵、そして直大の次女で宮妃として渋谷で生涯を送った梨本宮妃伊都子など、渋谷ゆかりの鍋島家の人々に関わる資料を紹介します。

2 松濤園の経営

松濤園では製茶業だけではなく水車業なども行われていました。明治期の松濤園の経営の実態について紹介します。

3 住宅街「松濤」の成立

大正時代になると、鍋島家は広大な所有地を次々と宅地へと変え、関東大震災以降は本邸を渋谷に移します。また昭和3年には地名としての「松濤」も成立します。その時期に関わる資料を紹介します。

4 鍋島侯爵家と渋谷

現在の鍋島松濤公園は、鍋島家が自身の公園用地を昭和8年に東京市に寄贈したことにより開園しました。このほか鍋島家と渋谷とのかわりに関する資料を紹介します。

講演会

「鍋島家と梨本宮妃伊都子の日常」

講師：國學院大學栃木短期大学准教授 内山京子氏

日時：3月1日（土）午後2時～4時

会場：当館地下1階多目的室

定員：25名

申込：往復ハガキまたは電子メール（sby-bunkazai@shibuya-muse.jp）

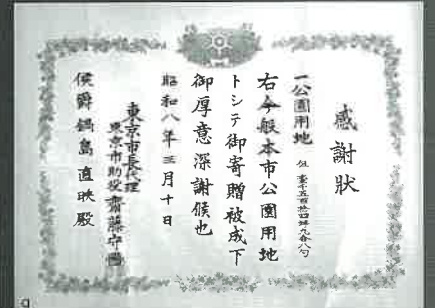
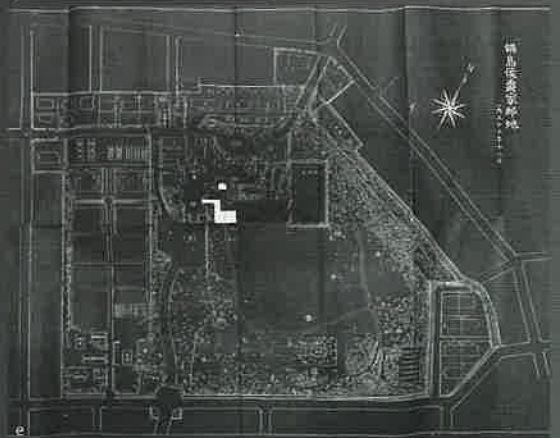
に「特別展講演会」と明記し、申込者全員（2人まで）の住所・氏名・年齢・

電話番号を記入し、2月12日（当日消印有効）までに当館へ。

展示解説

日時：2月15日（土）・3月15日（土）各午後2時～

申込不要。担当学芸員が解説します。



- a 鍋島直映・裕子夫妻と直孝
 - b 梨本宮妃伊都子
 - c 都内で使用された家紋入りのティーカップ
 - d 鍋島直映所用の山形巾
 - e 大正15年「鍋島侯爵家邸地」図面
 - f 明治23年 松濤園製茶方「金銀請拂帳」
 - g 昭和14年 東京市からの公園用地寄贈の感謝状
- (公益財団法人松濤報致会所蔵)
(公益財団法人松濤報致会所蔵)
(公益財団法人松濤報致会所蔵)
(公益財団法人松濤報致会所蔵)
(公益財団法人松濤報致会所蔵)
(公益財団法人松濤報致会所蔵)
(公益財団法人松濤報致会所蔵)